

1 審議会名	上田市交通安全対策協議会
2 日 時	令和3年10月22日
3 会 場	書面審議
4 出席者	木曾俊雄会長、高野学副会長、宮原剛士委員、土屋広幸委員、小林伸委員、山浦栄治委員、中島健彦委員、常盤正展委員、水出秀子委員、大島孝之委員、倉田雅史委員、山岸秋夫委員、小林靖典委員、柳沢裕美委員、堀内寛子委員、飯島良明委員、北沢武委員、滝澤共子委員、小松美香委員
5 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
6 会議概要作成年月日	令和3年11月15日
協 議 事 項 等	

1 議案

(1) 第1次上田市交通安全計画(素案)について

意見・質問は以下のとおり

(委員意見) 全体の文章構成として、目次3枚目の裏は白紙、次に第1次上田市交通安全計画施策体系が1枚で入り、ページ番号1としてこの裏は白紙、次に第1編で、ページ番号3から始まるようにし、常にページ番号の奇数が見開き文書の右側にくるほうが文章として見やすいのではないかと。

(委員意見) 文章全体の体裁(フォントや両端揃えなど)が整っていない。

(委員意見) P2 平成15年をピークに…数字を記載したほうが良い

(委員意見) P7,P10 「モビリティ」は「移動手段」の方がわかりやすい

(委員意見) P10 上田市における交通事故に占める高齢者の割合 と記載すればどうか

(委員意見) P10 グリーンゾーン(グリーンベルト)にも触れてもよいのでは

(委員意見) P12 R3.8.26に警察庁と同時に発表した生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「ゾーン30プラス」の内容の記載(追記)して頂きたい。

(委員意見) P12 「物理デバイス」の意味が不明確

(委員意見) P15 「上田市通学路交通安全プログラム」の内容が不明であったので市のホームページで調べたところ掲載されていたので、詳細がホームページに掲載されている旨を記載すればよいと感じた。ホームページ上で各小学校区の具体的な場所や改善点なども確認することが出来、住民でなくても、住民視点の問題点がわかり、通行するときに気を付けたりすることに繋がると感じた。

(委員意見) P17 近年、高齢者の移動手段確保は社会的な課題となっている。免許返納などに対応できる社会づくりが必要とされている中、もう少し具体的に内容の記載が必要と感じた。

(委員意見) P22,23 中高生が自転車を使用するにあたり、条例や保険加入の意味についての啓発も盛り込んでもらうとよい

(委員意見) P23 園児・幼児・小中高、高齢者に対し、(5)成人に対する交通安全教育が弱くないか。事故の少ない年代とはいえ、ヤングドライバー世代、子育て世代や、仕事などでも忙しい世代。でもあおり運転など問題も多いが、免許更新時の講習くらいしかない。安全運転管理者、ヤングドライバークラブも少ない。もう少し積極的なものも入れたい。

(委員意見) P23 シルバーリーダーの定義が不明確である。

(委員意見) P27 薄暮～踏まえおける自転車事故 記述誤り

(委員意見) P29 効果的な広報については、上田市のメール配信や、ライポくん安心メールなども入れてはどうか。(原因なども後で配信してほしい。)

(委員意見) P30 各校の「見守り隊」の活動に触れてもらうと、活性化につながるのではないかと。

(委員意見) P35 交通指導取締りについては、実施主体が不明確である。

(委員意見) P36 群衆のい集場所…「い集」はわかりづらい

(委員意見) P40 視覚障害者の踏切死亡事故の状況を掲載していることを受け、P37の内容に、障害のある方に対しての目標事項を組み込んだらどうか。

(委員意見) P42 「除却」はわかりづらい

(委員意見) P43 カラー舗装や駅周辺の駐車場整備等を踏切道整備と一体的に実施する、という趣旨か。
カラー舗装や駅周辺の駐輪場整備等の対策が、踏切道の安全・安心を確保する対策と、どのように関係してくるのが不明確であるので、記載について再度検討を頂きたい。

(事務局回答) 御意見を踏まえ、修正しました。

(委員意見) 計画の実質的な推進をするため、各項目の実施主体の明示(誰、どこが実施するか)が必要。

(事務局回答) 担当部局が多岐にわたる項目があることから、実施主体の明示は省略しております。

(委員意見) P8 死者数1人以下という表現では1人の死亡は想定しているということになるので、願いを込めて死者0人としたらいかがか

(事務局回答) 努力目標でなく、実現可能目標として設定する意味で「1人」と設定しました。

(委員意見) 各自治会で、交通安全に対する取組みの温度差を感じていることから、行政が中心となり対策を講じてもらいたい

(委員意見) 高齢者・障がい者に対する交通安全意識の高揚を図るには、福祉委員との連携が有効である。
また、今後増加する要介護者を運ぶ車両運転手に対する交通安全教育も必要と思われる。

(委員意見) 上田市で実施している高齢運転者等対象の運転免許自主返納制度に対する支援事業の認知度が低いものと思われるので、あらゆる広報等を通じ、市民に浸透させていただきたい。

(事務局回答) 御意見をふまえ、担当部局と連携のうえ、今後の施策に生かしてまいります。

(委員意見) 交通安全協会の支部が消滅するなど、交通安全に対する意識の低下が懸念されることから、自治会に対する働きかけの強化をお願いしたい。

(事務局回答) 担当部局と情報を共有します。

以上